

平成20年度 消費収支計算書

平成20年4月 1日から
平成21年3月31日まで

(単位 千円)

消費収入の部				消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	12,921,963	12,926,643	4,680	人 件 費	10,635,308	10,635,183	125
授 業 料	8,298,794	8,303,726	4,932	教 職 員 人 件 費	10,107,143	10,107,042	101
入 学 金	928,517	928,517	0	退 職 金	41,125	41,102	23
施 設 設 備 費	2,313,647	2,313,692	45	退 職 給 与 引 当 金 繰 入 額	487,040	487,039	1
教 育 充 実 費	1,236,598	1,236,600	2	教 育 研 究 経 費	6,220,983	6,206,575	14,408
修 学 諸 費	144,407	144,108	299	(減 価 償 却 額)	(2,475,132)	(2,475,091)	(41)
手 数 料	347,186	336,990	10,196	管 理 経 費	1,706,744	1,682,881	23,863
寄 付 金	539,650	512,287	27,363	(減 価 償 却 額)	(276,520)	(276,016)	(504)
補 助 金	2,629,225	2,630,731	1,506	借 入 金 等 利 息	158,381	158,380	1
国 庫 補 助 金	1,532,446	1,533,949	1,503	資 産 処 分 差 額	106,658	106,651	7
地 方 公 共 団 体 補 助 金	1,096,779	1,096,782	3	徴 収 不 能 引 当 金 繰 入 額	3,080	3,021	59
資 産 運 用 収 入	129,812	126,567	3,245	[予 備 費]	(42,410)	/	7,590
資 産 売 却 差 額	6,510	6,510	0		7,590		
事 業 収 入	586,618	601,433	14,815				
雑 収 入	690,239	701,953	11,714				
帰 属 収 入 合 計	17,851,203	17,843,114	8,089				
基 本 金 組 入 額 合 計	2,955,214	2,902,494	52,720				
消費収入の部 合 計	14,895,989	14,940,620	44,631	消費支出の部 合 計	18,838,744	18,792,691	46,053
				当 年 度 消 費 支 出 超 過 額	3,942,755	3,852,071	/
				前 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	21,254,848	21,254,848	/
				翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	25,197,603	25,106,919	/

1. 消費収入の部

- (1) 学生生徒等納付金は資金収入の部と同額で、帰属収入に占める割合は72.4%となり、前年度に比べて0.1%増加した。
- (2) 寄付金・・・(5億12百万円)は資金収入の部に現物寄付金を加算した額である。
- (3) 帰属収入合計・・・(178億43百万円)の内訳は大学150億7百万円、第一高8億29百万円、春日丘高13億28百万円、春日丘中3億9百万円、専門学校2億89百万円等である。
- (4) 基本金組入額・・・(29億2百万円)の主な内訳は次の通りである。

土地・建物及び構築物等	21億91百万円
教育研究用機器備品	4億20百万円
図 書	1億99百万円
三浦記念基金	5億円
70周年記念奨学基金	3億82百万円

2. 消費支出の部

- (1) 人件費・・・(106億35百万円)は前年度に比べて4億71百万円増加となった。また、帰属収入に占める割合は59.6%となり、前年度に比べて1.3%増加した。
- (2) 教育研究経費・・・(62億7百万円)は前年度に比べて56百万円増加した。主な増加要因は光熱水費、賃借料、受託研究費の増等である。なお、減価償却額は24億75百万円(前年度比71百万円増)である。また、帰属収入に占める割合は34.8%となり、前年度に比べて0.5%減少した。
- (3) 管理経費・・・(16億83百万円)は前年度に比べて40百万円減少した。
なお、減価償却額は2億76百万円(前年度比3百万円減)である。
また、帰属収入に占める割合は9.4%となり、前年度に比べて0.5%減少した。
- (4) 資産処分差額・・・(1億7百万円)は前年度に比べて56百万円増加した。
- (5) 当年度消費支出超過額は38億52百万円となった。この結果、翌年度へ繰越される消費支出超過額は251億7百万円となった。